

～和楽器の魅力や味わい～ 組 番 氏名 _____

箏曲 「六段の調」

やつはしけんぎょう
八橋検校作曲

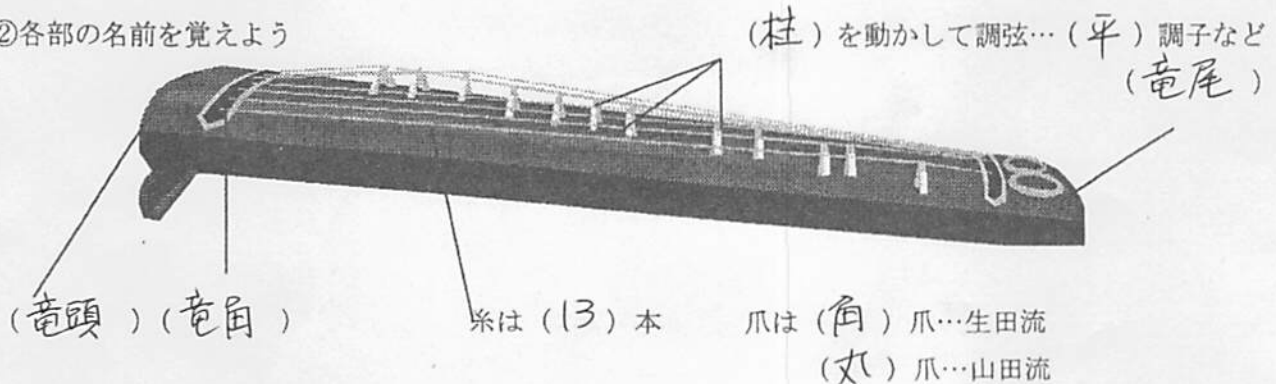
目標 楽器の音色や使われている音階、速度の変化を聴き取ろう
音楽全体の構成を感じ取り、和楽器「箏」の表現を味わおう

①演奏楽器を漢字で書こう



(奈良)時代に(中国(唐))から伝えられた。
(桐)の木でできていて、各部の名前は
(竜)の姿にたとえている

②各部の名前を覚えよう



③楽曲について

- ・歌の入らない器楽曲→(段物)、調べ物である。
- ・(六)つの部分(段)からできている。
- ・(序)→(破)→(急)という日本音楽共通の概念(考え方・認識)で速度が次第に早くなり、最後に急に遅くなって終わる。
- ・楽器の音をまねして旋律や奏法を覚えたり伝えたりするものを(唱歌)という。

④演奏方法

- ・左手で糸を押したり、引いたりすると音はどうなりますか(音高を上げたり下げたりする)

★箏の奏法をまとめよう()には略記号

- 左手 押し手(オ ▲) → 意味 左手で押して、音高を上げること。
後押し(オ ▲) → 意味 右手で弾いた後に、左手で弦を押して余韻の音高を上げること。
引き色(ヒ) → 意味 左手で弦をつまんで、柱の方に引き、音高を徐々に下げること。
右手 サーラリン(裏連) → 意味 短いメモ(同じ音で連続して弾く)の後に高い音から、低い音へ連続して速く弾くこと。

⑤作曲者について*検校・・・(目)の不自由な音楽家の最高の職位

生没年は(1614)年～(1685)年。江戸時代に活躍した箏や三味線などの演奏家・作曲家。幼いころに失明したが、大坂、江戸で箏や三味線を学び、(京都)で箏の演奏家として活躍した。彼は(平)調子という箏の調弦法や(段物)という曲の形式など今日に伝わる箏曲の基礎を築いた。